



#005 明日を築くプロジェクトの風景

国道325号

# 阿蘇大橋

道路法に基づき国が直轄事業として  
災害復旧事業を実施

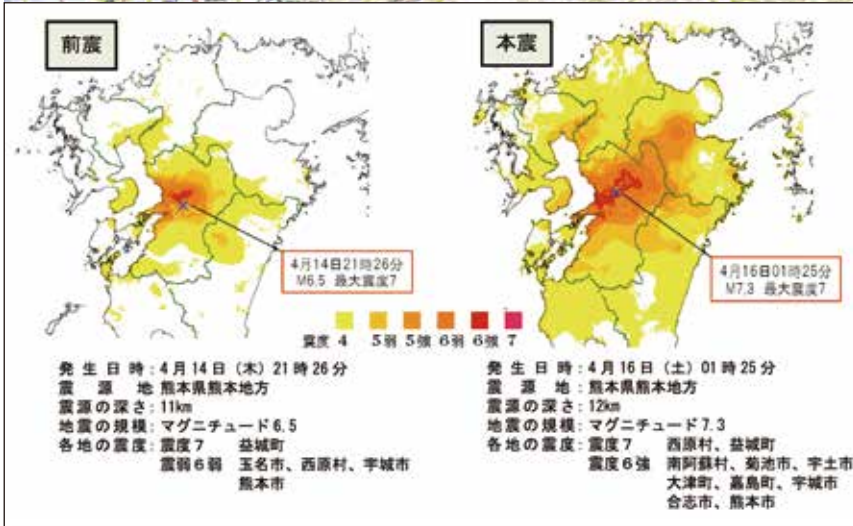


国土交通省 九州地方整備局  
道路計画第二課長

松元 勝美







▲ 熊本地震 下図は前震(4月14日)・本震(4月16日)の震度分布図



▲ 落橋した阿蘇大橋

国道325号は熊本県が管理する補助国道ですが、落橋した阿蘇大橋を架け替える場合、近くに活断層があり、また、黒川の深い渓谷に架設する必要があるので、高度な技術が必要とすることから、熊本県からの要望も踏まえ、道路法の規定に基づき、国が直轄事業として災害復旧事業を実施することにしました。

国道57号と国道325号が交差する阿蘇大橋交差点の西側に、阿蘇火砕流堆積物と阿蘇火山噴出物からなる阿蘇外輪山の急峻な斜面があります。4月16日未明の本震のとき、ここで国道57号、国道325号阿蘇大橋、JR豊肥線を巻き込み、下を流れる黒川に達する大規模な崩落が発生しました。

## 2. 国道325号阿蘇大橋

経済を担い、主要産業である観光を支える道路であることから、早急に復旧する必要があります。現在、国道28号熊本高森線は、トンネルの復旧を終え、旧道を迂回路にして、昨年12月24日に開通しました。また、今年の夏には、村道栃の木立野線も開通する見込みです。

## 1. はじめに

昨年4月14日夜の前震、4月16日未明の本震と2度にわたり最大震度7を観測した「平成28年熊本地震」では、熊本県だけでなく大分県、福岡県にわたる広い範囲で、これまで

経験したことがない大きな被害を受けました。活断層が位置する阿蘇大橋周辺の地区の被害は特に甚大で、大規模な斜面崩壊が発生して熊本市と阿蘇市を結ぶ国道57号、南阿蘇を結ぶ国道325号が通行止め。これらに並行

する県道28号熊本高森線、村道栃の木立野線も、トンネル・橋梁が大きな被害を受けて通行止めになりました。これらの道路は、熊本市圏と大分都市圏・宮崎県北地域を結ぶ大動脈であるとともに、阿蘇地域の生活・





阿蘇長陽大橋



▲ 国道325号阿蘇大橋架け替え位置

旧に  
国道325号阿蘇大橋の早期本復旧に向け、6名の学識経験者からなる「国道325号ルート・構造に関する技術検討会」（委員長・日野伸一九州大学副学長）を設け、阿蘇大橋の架設位置・橋梁形式、接続する道路の位置・構造などについて、専門的立場からの技術的助言をいただくことにしました。

### 3. 復旧計画



▲ 橋台が損傷した阿蘇長陽大橋



▲ 阿蘇長陽大橋の段差(橋台側から本体を望む)

**第1回検討会 平成28年5月12日**  
 ルート選定にあたって、

- ① 今回の震災を踏まえて安全性の高いルート
- ② 可能な限り早期に復旧可能
- ③ 阿蘇の玄関口としての機能確保
- ④ 地域間交流の保持（南阿蘇村の地域分断の解消）

の基本的考え方が確認された。  
 また、震央・断層位置の確認や地質構造等の調査、橋台位置検討のための基盤岩の分布状況の調査など地盤の安全性に関する調査を実施することが確認された。



新しい阿蘇大橋



▲完成予想イメージ

第2回検討会 平成28年7月5日

阿蘇大橋の架け替え位置について、国道57号沿線の斜面崩壊のリスクを最大限回避し、断層帯による致命的な損傷を受けないことを考慮し、また、熊本方面と南阿蘇方面とのアクセス性の確保や阿蘇観光の玄関口としての機能を確保するなどの観点から、総合的に勘案し、現位置の約600m下流側で決定した。

新しい阿蘇大橋の橋長は345m、取り付け部を含めた全延長は約1kmになる見込み。

第3回検討会 平成28年7月29日

阿蘇大橋の橋梁形式は、様々な形式から最終的に、①近くに推定活断層があり、将来の地震で地盤変状が生じても落橋・倒壊しにくいこと、②工期が短いこと、③阿蘇の眺望を阻害せず周辺環境になじむこと、の理由から「PC3径間連続ラーメン箱桁橋」を選定した。なお、近くに同形式の阿蘇長陽大橋(村道筋の木立野線)があり、地震で橋台が滑落したものの、本体の損傷が少なかったことも評価された。

4. 復旧状況

橋梁形式が決定した後、速やかに設計に取り掛かり、施工方法を検討

し、地元説明会を実施して用地買収に向けた調整を進めました。

橋梁工事の準備工事として、脆弱な斜面の崩壊を防ぐための抑止工事を先行して実施しています。また、阿蘇大橋の本体についても、3月16日に契約手続きを終え、平成32年度での全線開通を目標に復旧工事を進めていくこととしています。

【阿蘇大橋上下部工事の工事概要】

橋梁形式：PC3径間連続ラーメン箱桁橋

橋 長：345・0m  
(最大支間長：165m)

下部構造：逆T式橋台、RC中空橋脚、張り出し式橋脚

5. おわりに

熊本地震から1年が経過しました。地震直後には、道路がズタズタに寸断され、生活・産業・農産物など各地で大きな影響を受けましたが、その後の復旧活動で、少しずつ日常を取り戻しつつあります。ただ、阿蘇大橋の近隣の地区は、大きく迂回を余儀なくされ、観光客も激減して、生活再建が思うように進んでいません。地域の一日も早い復旧・復興に向け、阿蘇大橋の早期完成に努めてまいります。